

平成18年12月発行 発行者 砺波カイニョ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹
事務局 富山県砺波市表町14-10 電話 0763-33-6588 天野一男建築工房内

のどかでさわやかな晩秋の一日

富山市の散居と屋敷林とその歴史にふれる

11月25日(土)晩秋の最良の晴天。砺波カイニョ倶楽部「屋敷林見学会」に17名が参加した。砺波を離れ、県内中央部・富山の旧家と屋敷林を見学。砺波にないものにふれ、そこでの苦労体験や、長い歴史との関係について訪問した家の方の話聞いた。コースは、竹島精一宅(富山市下新町)～深山静夫宅(富山市月岡新)～月岡新神明社(月岡新)～富山市花卉センター(月岡)～常楽寺の樹叢(婦中町・千里)の順にまわった。

竹島精一宅 —主人と竹島家の土塀や土蔵の修理にあたった石崎勝紀さんの案内—

- ・1618年(関ヶ原合戦から18年後)に先祖が家建て、11代まで富山藩の十村役をつとめた。
- ・現建物や土蔵、土塀の配置やつくりは、十村役の家屋の典型。
- ・敷地は1,300坪(約4,300㎡)
- ・S面84mの土塀は、県内最大。前門と御成門がE面に。
- ・土蔵のコテ絵に加え、土蔵東北下隅に富山大空襲での焼夷弾跡が残る。
- ・屋敷林内には、ケヤキ、カエデ、エノキ、ヒマラヤスギ、シロダモの大木。SW面にモウソウ林がある。

※ケヤキの大木とヒマラヤスギの組合せは、奇妙でおもしろい。

スギはなし。中木としてカエデが多く、その下木にヒサカキが成立。

タケ林が屋敷林後の南西面に成林。——珍しい配置だ。



写真・竹島家の前門



写真・竹島家の県下一長い土塀

深山静夫宅 —主人と奥さんが林内を案内—

・林内の落葉掃除をし、畑で燃やす(のどかな日でも朝から)その煙が屋敷林内にただよい、太陽光と交叉し、見学者に感動を与えた。

・屋敷林の特徴

- ①スギ大木(林高30m、直径80mくらい)11本を主木にウラジログシ、ヒノキ、ケヤキが共生——古い木と多樹種の組合せが立体的で元気。
- ②手をかけた生垣よりスギ枝と中低木の混成で外周をつくり、全体を包む。
- ③屋敷内の段差と水路がES面からW面に入り、N面に井戸がある。水まわりがいきとどく。
- ④屋敷全面に樹木が配置される(月岡新地内43戸中この深山邸のみ)
- ⑤タケ林がWmNの二ヶ所に成立
- ⑥井戸のまわりのヤブコウジが沢山の赤い実をつける。カキもある。

※落ち着いた立体的で重みのある屋敷林。450年余のスギは深山家14代の歴史の生き証人か。



写真・深山家の樹叢



写真・深山家の林内

月岡新明神社（富山市月岡新）

- ・センノキ（6本）とスギ、ウラジロガシを主木にした樹叢。E S面にタケ林。
 - ・社殿の全てをつつむ極めて立体的な社叢は県内平野部で随一。
 - ・センノキの成立は注目でき、貴重な存在だ。氏子は、何百年もこのセンノキの成立に協力したのはどうしてだろうか。20m余りの一本は、相当傾斜しながら樹幹を保っていて一同の関心を誘った。
 - ・中木から低木にゴンズイ、ヒサカキ、マユミ等が多種成立し樹叢に厚みを加える。
- ※珍しい樹生を混じえた元気な樹叢。——ウラジロガシ、セン、シナ、ゴンズイ、コウヨウザン、にスギの組合せ。



写真・月岡新神社社叢

常楽寺（富山市婦中千里） —背後のウラジロガシ林—

- ・里山の一角で、常楽寺と隣接する稲荷神社の樹叢として残されてきた暖帯林のかたまり。
- ・標高 80～170mで東むき斜面——アカマツ、コナラ、スギが入っている中で尾根の中央部にウラジロガシの直径 50 cm くらいのものが 20 本近く成立。
- ・この中にアカガシ、イヌンデも混じる。
- ・ウラジロガシは常緑の高木で、幹は直立、樹皮は灰色で滑らか。葉は細長く、ややうすっぱらな葉面は波をうっている。葉の上半分に細いノコギリ歯がある。裏面はテリのある粉白色。
- ・この地で、まとまって成立していることは珍しい。（意識して残したものだろう）
- ・常楽寺境内にムクロジの大木がある。

のどかな晩秋の一日を、砺波を離れ、呉羽山麓を東に越えた県中央部の散居と屋敷林にふれ、一同少しだけ違った爽快な中味の刺激を受けた。また、常楽寺裏の山を登ったことで、心地良い汗とよい運動になった。



写真・月岡新神社のゴンズイ

参加者の声

- ・沢山の素晴らしいものに出会えた。竹島家の土塀に感心した。また、土蔵に富山大空襲の焼夷弾跡を見せてもらい、考えさせられた。
- ・ヒマラヤスギは、屋敷林に合わないのではないかと。
- ・深山家林内の小川の流れる水音にふれ感動した。
- ・畑で落ち葉を燃やしてみえ、煙が前庭にただよってきて、その幻想的な光景と香りが心地良かった。家でも落ち葉燃やしをしているが、これは大事な伝承作業にしていかなければ。
- ・450年のスギはすごい。どんな木でも100年以上の歴史が大事なのか。
- ・センノキの成立する神社の奥の深さや、謎に新しい夢をもらえた。
- ・砺波よりも月岡は屋敷林が豊かだ。

この見学会を北日本新聞と富山新聞が取材報道した。